

平成22年第4回（12月）定例会一般質問

《12月6日》

4番 衛藤竜哉 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者
1 行財政改革の 考え方、進め方 について	市の行財政改革もいよいよ第2期集中改革プランの取組が本格的に始まろうとしています。行革の大きな柱の一つ、市の公共施設の見直しは、平成23年4月から廃止や外部委託等への指針が多くあります。これらのプランの進め方について伺う。 (1) 公共施設の廃止や委託等について、それぞれ利用している市民、周辺地域への説明・アドバイスはこれまでしっかりされているのか。 そして、これからはどのような計画でしていくのか。 (2) 公有財産の管理について、それぞれの施設で管理部局ははっきりしているのか。	市 長
2 公共の遊具施設 の現状は	(1) 市内の公共施設等に設置されている遊具は、子供たちや、その保護者等の憩いの場、交流の場として、市の理念の住みよいまち、安心して子育てができるまちづくりには、無くてはならないものではないでしょうか。 最近、使われない遊具、老朽化した遊具等が市内の中で多く見受けられる。こうした公共の遊具施設の現状を、各部署はどのように把握しているのか。また、これらの改善等について伺う。	市 長
3 観光まちづくり ビジョンにつ いて	市は、平成20年3月「ライブ・ツーリズム協働体験プロジェクト 豊後大野路・田園空間 11 物語 観光まちづくりビジョン」を策定し、観光を素材としたまちづくりを提唱しています。 そのプロジェクトの一つ「おもてなしのまちづくり」物語のスポーツ観光（スポーツ・ツーリズム）において、現在、年間延べ8,000人ほどが市内の運動施設を利用し、市内に宿泊し一定の経済波及が出ています。 (1) 各部署において、これまでの検証とこれからの取組について伺う。 (2) その利用者の利便性を高めるため、これまでの取組を検証して、さらに市としてできる対応を検討してはどうか。	市 長

11番 佐藤徳宣 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者
1 豊後大野市国民保護計画について	① 市の責務の中の武力攻撃事態等とはどういうことを想定しているのか具体的な内容について伺う。 ② 市地域防災計画等との整合性の確保について伺う。 ③ 市の国民保護措置についての訓練の検証結果を踏まえ、不断の見直しを行うとあるが、不断の訓練とはいつ実施するのか。また、実施したのであれば実施内容について伺う。 ④ 市国民保護協議会のメンバーと会議等について、協議内容等を公表しているか。 ⑤ 計画書の中の外国人への配慮について、日本には世界で唯一スパイ防止法がない国だが、その見分け方等について市民に分かる方法はあるのか。 ⑥ 豊後大野市国民保護計画について、市民に周知徹底しているのか伺う。	市 長
2 豊後大野市地域防災計画について	① 災害等に対する防災訓練について、地域防災計画ではどういった位置付けかを伺う。 ② 市内には小規模集落が多く高齢化している。昼間は若い人が少なくなっている。これまで訓練と称するものは、モデル地区しか実施していないと思うが、今後の計画について伺う。 ③ 小規模集落では特に訓練をしていなければ、いざという時に動けないので、是非、高齢者を対象にした訓練を実施してほしいという、一部市民の声もあるが、希望のある地区では実施してはどうか。 ④ これまでの市の総合計画の中で、この計画に対する評価はどういうものであったか、できるだけ詳しく市民に公表説明すべきではないか。 ⑤ 質問事項1とも関連するが、市の危機管理について市長の考えを問う。	市 長

2番 沓掛義範 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者
1 豊後大野市の農業振興策について（ビニール資材について）	① ビニールハウスのビニール、防草シート及びタバコ、サトイモ、サツマイモなどのポリマルチへの助成の考えはないか伺う。	市 長

5 番 浅野益美 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者
1 臭気問題のその後の経過と対策を伺う（小坂・三重原地区）	① 住民合意は得られたか？ ② 産業振興の観点から施策としての取組はいかに。	市 長
2 道路問題について	① 高齢者の増加で、緊急車両の出動が増加しているが、狭小で悪路のため、住居に近づけない箇所がある。対策を伺う。	市 長

15 番 高山豊吉 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者
1 地域の特性、資源を活かした地域づくりについて	（１） 豊後大野市では、現在「まちづくりチャレンジ事業」への取組が始まっているところである。 この事業は、まちづくりに関しての市長の諮問に対し市内7町の各まちづくり委員会で出された答申の内容に沿った市民提案型の試みや、活動を実施する市民活動団体に対しての補助事業である。よって、以下のことについて伺う。 ① 7つの町のまちづくり委員会への各団体からの応募状況、内容、件数等は。 ② 各団体から申請された事業計画申請書の審査・承認基準は。 ③ 市は今後、この事業にどのようにかかわっていくのか。	市 長
2 人材を活かした地域づくりについて	（１） 豊後大野市内においても、豊後大野市青年団設立委員会が、平成22年11月末に、設立総会を開催し、20代から30代までの若者を中心に、様々な人々との出会いの場をつくり、本格的に活動を開始するとのことである。 市としてもこのような事例においては、応援すべきと思うが、いかがか。	市 長

《 1 2 月 7 日 》

19番 宮成昭義 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者
1 「行政組織・機構再編見直し」について	(1) 現在、検討されている「行政組織・機構再編計画」の進捗状況は。	市 長
2 公共交通のあり方について	(1) コミュニティバスの運行計画は。	市 長
3 人口減少対策について	(1) 若者の定住促進対策を伺う。	市 長

1番 神志那文寛 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者
1 新庁舎の設計から公民館を外すべきではないか	① 豊後大野市中央公民館の建物存続を求める声が上がっている。どのように受け止めているか。 ② 新庁舎の公民館部分は、現在の中央公民館の利用状況をどのように考慮して設計したのか。 ③ 中央公民館を解体する場合は4,500万円、耐震改修などをする場合は数億円の規模で費用がかかるとのこと。中央公民館を耐震改修などして引き続き活用するのであれば、新庁舎には公民館機能を入れるな。	市 長
2 公共施設の見直しは市民に周知・理解されているか	① 対象となる322施設の見直しを、どのように進めていくのか。特に関係する市民・団体との協議の段取りは。 ② 「選択と集中」の考え方は。何を優先していくのか。 ③ 「長湯憩の家」は、市民の憩いの場としての活用方法を検討してはどうか。	市 長

14番 赤嶺謙二 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者
1 中央公民館の 存続を求める請 願について	① 利用団体を中心に、市民の存続を求める声は多い。3日間で4,805名もの署名が集まったが、市当局はどのように受け止めているか。 ② 壊さなくても利用できることが判明すれば、大いに利活用すべきだと考える。そのためには、まず耐震検査を早急に行うべきでは。 ③ 新庁舎の基本計画では、公民館施設は2階となっている。これを取り止め全体を4階建てとし、今の位置に公民館を建設することは可能か。 ④ 署名でも分かるように、三重町を中心とした多くの市民は、現在の位置に中央公民館があることを望んでいる。 新庁舎建設計画の変更が無理とするなら、利用状況も多いことを考慮し、補助施設として残す方法を考えるべきでは。	市 長

8番 恵藤千代子 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者
1 死亡届・火葬 許可の窓口体制 について	① 人間として避けられない最後の儀式にかかわる死亡届の受付及び火葬許可を取り扱う窓口体制について、現状は。改善すべき点はないか。	市 長
2 葬斎場の管理 について	① 豊後大野市葬斎場条例及び施行規則には、使用時間や遺体等の受付時間を定めていないが、現状はどのように運営をしているのか。住民ニーズにこたえた使用時間及び遺体等の受付時間を定めるべきではないか。	市 長

《 1 2 月 8 日 》

3 番 和田哲治 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者
1 市行政における「電子計算組織」の管理運営について	① 市民の多岐にわたる個人情報をも有する行政内の「電子計算組織の管理運営」について、その実態を伺う。 ② 各部署で運用されている「電算システムやプログラム管理」など、年々増額されている外部への「保守点検委託料」や「管理委託料」について、その経費節減・コスト縮減への内部検討は行われているのか、伺う。	市 長
2 市税の滞納状況、その現状と収納体制について	① 長引く不景気で、納税は各家庭で大きな負担となっている。そのままに市税滞納額の増加となっていると思われるが、納税意識の向上策と、この収納体制の現状を、改めて伺う。 ② なかでも、市税（5税）のうち「軽自動車税」について、「本年度分」・「過年度滞納分」請求での、区分内容（種別）と、その収納状況を伺う。	市 長

17 番 衛藤 正宏 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者
1 集中改革プランについて	① 施設の統合、廃止の進捗率について ② 今後の進め方について	市 長
2 豊後大野市の随意契約について	① 市の随意契約に係る手法の全般について、問う。	市 長